

保護者 様

さいたま市立木崎小学校
校長 佐野 公 子

通知票「あゆみ」について

向夏の候、保護者の皆様には、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に御理解御協力を賜り感謝申し上げます。

さて、本校では、児童一人ひとりの学習状況を評価しながら、その後の指導に生かすため、毎学期通知票「あゆみ」を配付しております。

つきましては、下記の見方を参考の上、児童の学習状況や学校生活の様子を把握していただくとともに、よい点を褒め、今後の励みにするなど、有効に活用していただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

記

1 評価の基本的な考え方

- (1) 学力を知識の量のみで捉えるのではなく、学習指導要領に示す基礎的・基本的な内容の確実な習得と、自ら学び自ら考える力などの「生きる力」がはぐくまれているかどうかについて評価します。
- (2) 観点別学習状況を基本とし、目標に準拠した評価（いわゆる絶対評価）により評価します。
- (3) 一人ひとりの学習状況を的確に把握し、その子のもつよさや進歩の状況も踏まえて評価します。

2 通知票の見方

(1) 学習の記録について

① 観点別学習状況

学習指導要領に示す各教科の目標に照らして、その実現状況を観点ごとに評価します。

「A」よくできる・・・観点別目標に対して、十分満足できる。 「B」できる・・・満足できる。 「C」がんばろう・・・努力を要する。
--

1年生の1学期については、2段階「できる、がんばろう」になっています。
その際、表記は「B」できる、「C」がんばろう、としてお知らせします。

② 評定について（3年生～6年生）

各教科の学習状況について、学習指導要領に示す各教科の目標に照らして、その実現状況を総括的に評価します。

「3」・・・その教科の目標が、十分満足できる。 「2」・・・満足できる。 「1」・・・努力を要する。
--

③ 「総合的な学習の時間『かがやき』『STEAMS TIME』」について

活動内容や学習状況の顕著な事項を文章で記述します。3学期にまとめてお知らせします。

④ 「潤いの時間『人間関係プログラム』への取組」について

評価の観点に基づき、その子にどのような力が身に付いたかを文章で具体的に記述します。

「人間関係プログラム」（3年生以上）

○ 評価の観点

- ・ 学習活動への関心・意欲・態度
- ・ 人と関わる際のスキル（相手とトラブルなく円滑に自分の意志を伝える技能、会話において必要となる技能）

※スキル等の習得は集団生活のあらゆる場面で生かされてきますので、1年間を通しての評価を3学期に文章で記述します。

⑤「グローバル・スタディ科」について

低学年は、学習活動及び、指導の目標等に基づき、評価の観点に照らして、年間を通して児童にどのような力が付いたかを、3学期に文章で記述します。

中学年は、観点別学習状況について記入します。

高学年は、観点別学習状況及び評定について記入します。

⑥「特別の教科 道徳」について

学習活動における児童の具体的な取組状況を学期ごとに見取り、児童の成長の様子を個人内評価として1年間を通しての評価を3学期に文章で記述します。

(2) 行動の記録

指導要録「行動の記録」に準拠した、次の10項目について、十分満足できる状況にあると判断される場合には、「○」印を記入します。

- ・ 基本的な生活習慣 ・ 健康・体力の向上 ・ 自主・自律 ・ 責任感
- ・ 創意工夫 ・ 思いやり・協力 ・ 生命尊重・自然愛護 ・ 勤労・奉仕
- ・ 公正・公平 ・ 公共心・公德心

(3) 特別活動の様子

学級の係や当番活動、委員会やクラブ活動の所属名を記録するとともに、顕著な活動状況について記述します。また、学校内外における顕著な表彰事項についても記録します。

(4) 保護者確認欄について

保護者の方が確認されましたら、押印かサインをお願いします。

(5) 出欠欄について

出席・欠席・出席停止等についての状況をお知らせいたします。

(6) 所見について

1・2学期には所見ではなく、原則面談によって成績の状況をお話いたします。(2学期は希望制)
3学期については、従来通りの記述による所見とします。

(7) 評価の観点について

各教科の評価の観点については、木崎小学校 HP の「学年だより」の中でご確認いただけます。

(8) ひまわり学級について

ひまわり学級の通知票については、観点別の評価・評定ではなく、全て記述となります。なお、個別の指導計画と評価が重複する部分については、個別の指導計画の記載をもって評価といたします。
(ひまわり学級については、7月の学年だよりにより詳しい記載がございます。)